

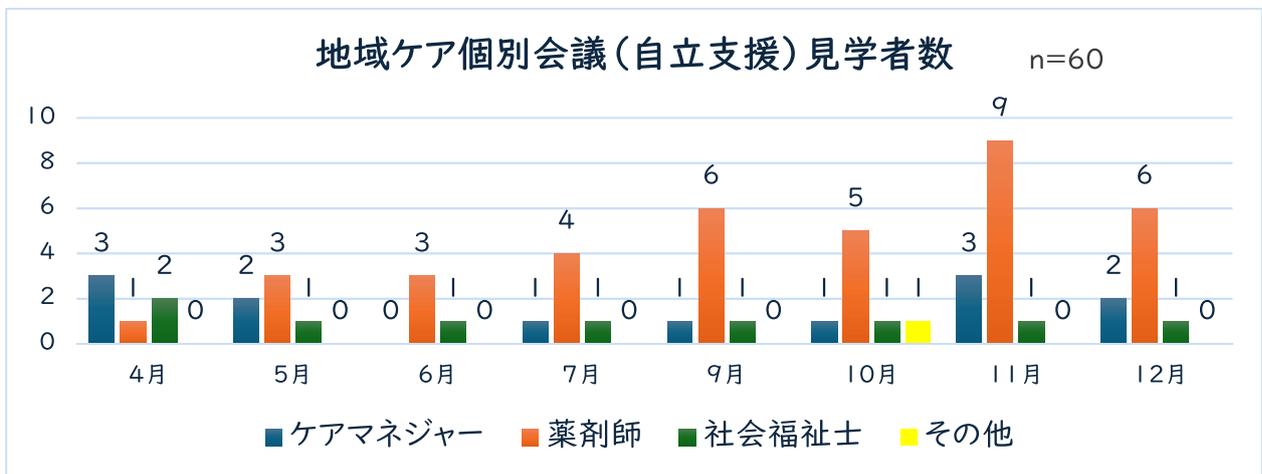
## 令和7年度「地域ケア個別会議」活動報告

### 1. 「自立支援」のための地域ケア個別会議

#### (1) 実績

	開催数	事例数	見学者数	平均見学者数
令和6年	12回	24事例	87人	7.3人/回
令和7年4月～12月	8回	16事例	60人	7.5人/回

※8月開催なし



#### (2) 振り返り

##### ① 会議実施後3か月のモニタリング

※詳細は別紙参照

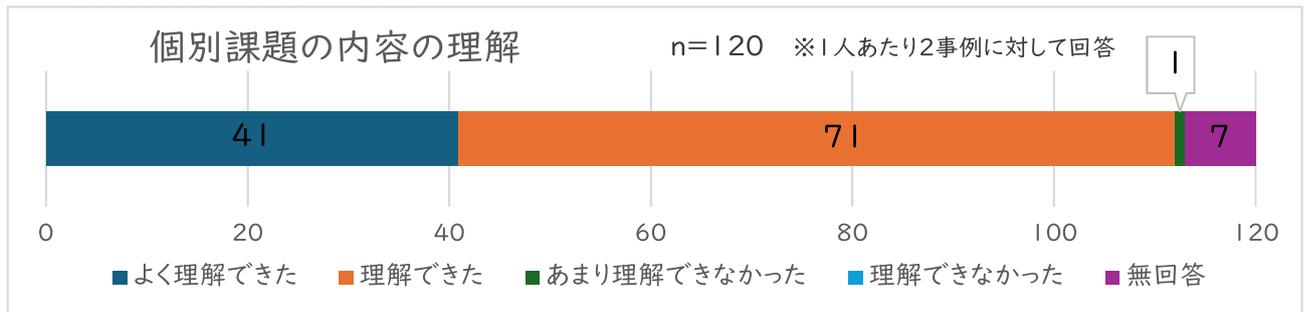
モニタリング	事例	結果	複数回答
実施	19	家族・本人への提案	19
		介護予防計画書(ケアプランに反映)	8
		プラン変更なし	11
経過中	4		
未実施	1	ケアマネジャー退職のため	
計	24		

○本人・家族への提案やケアプランに反映できなかった主な理由

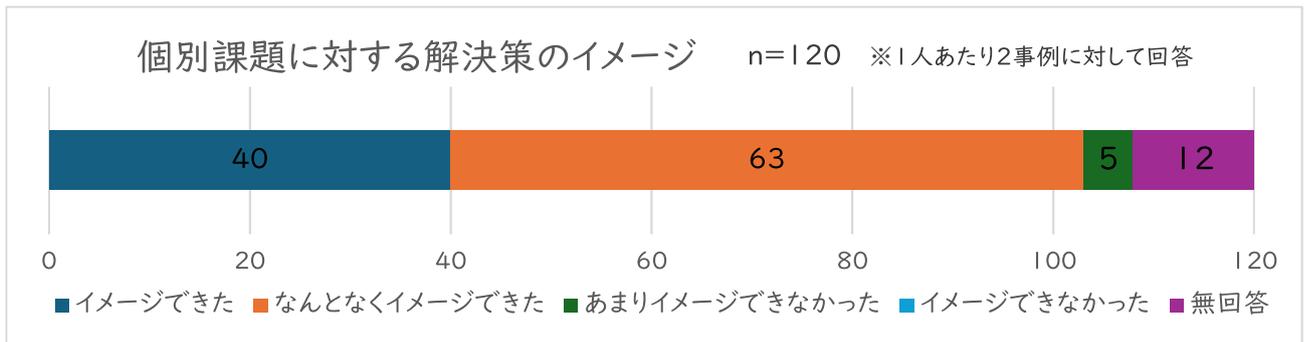
- ・本人が強いこだわりや意思が固いため
- ・金銭的な理由により
- ・本人・家族が必要性を感じていないため

## ②見学者アンケート結果

### ■個別課題の内容の理解



### ■個別課題に対する解決策のイメージ



## (3)本年度の取組

令和6年度の振り返り(反省点)から、以下の3つについて取組を実施

### ①地域資源の開発のため生活支援コーディネーターの会議への参加

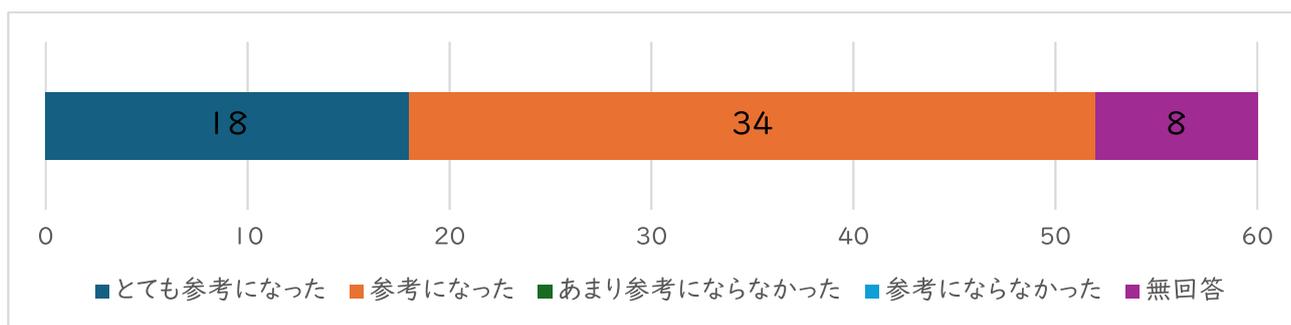
生活支援コーディネーターが会議に参加することで、高齢者のニーズに対し、多様な地域資源やサービスの情報が共有された。これにより、高齢者の「困りごと」に対する支援の選択肢を増やすことができた。また、生活支援コーディネーターの意見を基に、参加者全員で、望ましい地域資源について活発に意見交換が行われた。

### ②モニタリング結果の共有

毎回、当会議の冒頭にモニタリングの結果報告を実施した。

見学者から本人や家族の考えやこだわりを変えることは難しいとの意見や配食サービスは塩分コントロールや栄養面で有効なサービスであることが分かったとの意見がきかれた。

## ■モニタリング結果の共有



### ③市や見学者からの情報提供

各事例の検討から挙がってきた地域課題に関連する情報として、健幸長寿課より、高齢者の活動の場として守谷市内「シニアサロン・教室一覧」や家族の介護負担の軽減のための「家族介護教室」紹介、高齢者の住宅情報の1つとして市内の県営・市営住宅の状況などの情報提供・共有を行った。見学者からは死別（家族、ペット）を経験された方に対する「アニマルセラピーの効果」や独居で服薬管理が困難な方に対する「服薬ロボット」等の情報提供が得られた。

## (4) 課題

### ①運営、進行について

事例を通じて見えてくる地域の課題について、会議の参加者全員でより一層活発な議論が行えるようにファシリテーションしながら、会議の進行を行っていく必要がある。また、会議で得られた地域資源の情報や内容について、生活支援コーディネーターと共にまとめていく。

### ②プランへの反映について

当会議を受け、本人・家族に向けいろいろな提案をすることができている。しかしながらプランの変更までには至っていないことも多いことから、対象者の更なる自立支援に向けてアプローチをしていく必要がある。

## (5) 令和8年度にむけた取組

### ① モニタリングについて

#### ・モニタリングの結果報告

令和7年7月より結果報告を実施しているが、参加者全員で事例の経過を共有することができている。見学者のアンケートでは「参考になった」との意見が多く寄せられており、次年度も継続して実施していく。

#### ・アンケート内容を修正

モニタリングを聞いた見学者から具体的な意見（参考になった理由等）を確認できるようにして、モニタリングの結果やその内容について整理していく。

② 「自立支援」の意識向上に向けて

この会議は、「自立支援」について考える機会としているため、介護保険サービスの卒業を目指す支援事例や、実際に卒業した事例を取り上げ、「自立支援」の意識の向上を図るための報告の場を設けていきたい。

2. 「援助困難事例」のための個別ケア会議（随時開催）

(1) 実績

	開催数	事例数	内訳
令和6年	10回	10事例	北部5件／南部5件
令和7年4月～12月	4回	4事例	北部1件／南部3件